



大崎市長のついで
おおさきかみじま

平成29年12月定例会

議会だより

第59号 / 2018年2月2日

議長あいさつ	2	大崎海星高校部活紹介	11
12月定例会	2	委員会報告	12~15
平成28年度決算認定	3	あれから・編集後記	16
7議員が一般質問	4~10		



大崎市長のついで
おおさきかみじま

場所 大崎

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとう
ございます。

町民の皆様方には日頃から
議会活動に対しご理解と
ご協力を賜りますこと、厚
く御礼申し上げます。

昨年は広島県立広島叡智
学園の建設が具体化し、大
崎上島町がさらに脚光を浴
びた年でした。

また学習交流センターも
着工し、教育の島構想の大
きな起点となったのではな
いかと思います。

それらのことが、今後の
私たちの生活にも影響を及
ぼすことが見えた一年では
なかったかと思えます。

もちろん、地元の子供た

ちに対する就学前教育や義
務教育が一番重要であるこ
とは誰もが認識するところ
でございます。

現在、本町の小中学校は
総じて諸々の学力調査にお
いて素晴らしい結果を残し
ており、議会としても取り
組みを支援してまいります。

本年も、社会情勢の目ま
ぐるしい変化を素早く読み
取りつつ、目先だけではな
く中長期的な判断をしながら、
皆様の声を的確に町行
政に反映できるように、最大
限の努力をしていく所存で
ございます。

本年もご理解ご協力をお
願い申し上げますとともに、
今年一年が皆様方にとって
実り多い年となるよう祈念
いたしまして、年頭のご挨拶
とさせていただきます。

大崎上島町議会議長

信谷 俊樹

第4回定例会(12月議会)

大崎上島町議会は、平成29年第4回定例会を12月15日、18日の二日間開会した。

7名の議員の一般質問に始まり、9件の議案、報告1件、平成29年度12月補正予算、意見書1件を審議・可決し、1件の条例案を否決した。なお、決算特別委員会より平成28年度大崎上島町一般会計ならびに特別会計の歳入歳出決算認定についての報告があり、全員一致で認定した。

決まった主なこと

- 大崎上島町観光案内所設置及び管理条例
- 大崎上島町個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 平成29年度一般会計補正予算（第5号）他 7特別会計補正予算

否決した条例案

- 大崎上島町学習交流センター設置及び管理条例
理由：運用に当たっての問題点が解決できていないため。（賛成4：反対7）

修正可決した条例

- 大崎上島町捕獲鳥獣処理施設設置及び管理条例
理由：運用に当たって、利用者の誤解を招く恐れがあるため。（賛成7：反対4）

平成28年度一般会計

歳入（財源）	78億9885万円
歳出（使いみち）	74億7375万円
繰越金	5億4701万円
実質収支	2億9336万円

（単位：千円以下切捨て）

平成28年度 決算認定

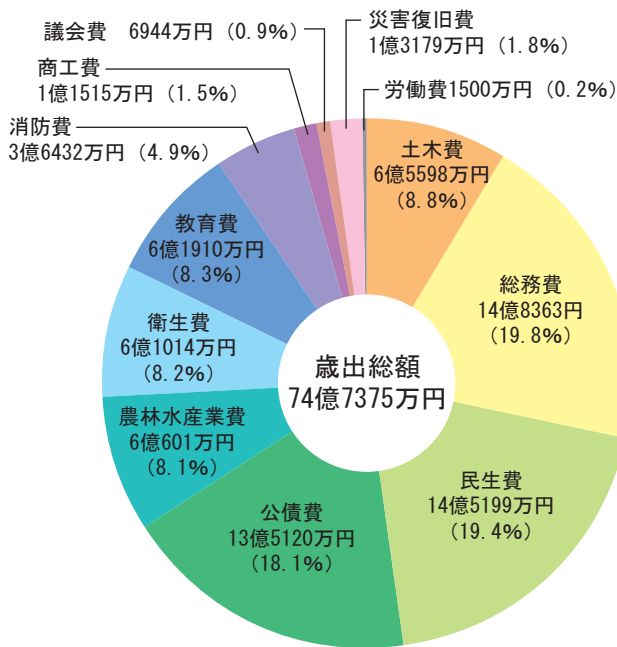
9月定例会において決算特別委員会に付託

平成28年度決算のあらまし

- 歳出決算 一般会計は74億7375万円で、11特別会計を合計した額は、113億6084万円
- 歳入決算は歳出決算を上回る119億2536万円となりました。

〈一般会計のなかみ〉

町の予算はこのように使われました



特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	13億4157万円	13億3029万円
介護保険事業	15億5475万円	15億840万円
後期高齢者医療保険事業	1億6522万円	1億6505万円
簡易水道事業	4億4980万円	4億338万円
公共下水道事業	1億5299万円	1億4286万円
農業集落排水事業	4802万円	3929万円
漁業集落排水事業	6372万円	5498万円
港湾管理	2269万円	1604万円
漁港管理	338万円	311万円
交通事業	8124万円	8102万円
干拓地管理	1億4313万円	1億4267万円
合計	40億2651万円	38億8709万円

決算特別委員会報告

平成28年度決算認定される（9月定例会において決算特別委員会に付託）

決算特別委員会が審議した結果、全般的には概ね妥当と思われる。

今後、合併算定替えによる地方交付税の減少、国庫補助金のカット、景気低迷による町税等自主財源の減収も見込まれる中、財政運営は厳しい縮減を余儀なくされている。

一方、大崎上島町まち・ひと・しごと総合戦略により、地域活性化・地域住民緊急支援事業（地域創生先行型、地域消費喚起・生活支援型）を実施してきた。

また、広島叡智学園の建設や大崎クールジエンCo₂分離・回収設備の建設が決定し、一時的とは言え、人口増が見込まれフェリー等交通機関の利用や飲食などに伴う島内消費の需要が高まり地域活性にもつながると思われる。

今後も町は地方創生に端を発する「教育の島構想」を推進することとしているが、年度毎に事業の精査を行い、切れ目なく、より効果的な事業を施行することを求める。

決算特別委員会委員

委員長 水橋直行

副委員長 森若 巖

委員 尾尻康二

委員 閑田大祐

委員 前田 太

委員 上青木至

町政を問う



わたなべ としのり
渡辺 年範 議員

質問（渡辺議員）

今度できる有害鳥獣処理施設の①建設場所②予算③施設の規模及び内容④処理予定数⑤稼働予定日について問う。

答弁（地域経営課長）

①建設場所は旧西野小学校グラウンドの一部。
②予算は、約4800万円のうち建屋が2800万円、処理機が2000万円。

問

有害鳥獣処理施設とは

答

微生物による発酵分離処理施設

③規模及び内容は、木造の平屋建てで、処理機の格納庫が32㎡、捕獲鳥獣処理施設が62㎡。処理機は、微生物により高温で発酵分離処理するもので、一日約180kgの処理が可能で、時間的には24時間でほとんど分解し、骨と皮は7日でなくなる。

④処理予定数は、イノシシの捕獲頭数の約半分の360頭と他に狸やカラスなども予定している。但し交通事故等による犬猫の死骸は焼却処分するのでここでは処理しない。
⑤稼働日は、平成30年4月1日を予定している。



現在建設中の処理施設

お知らせ

- 本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。
- ※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。
- ※録画の視聴は町議会メニューの議会録画中継配信でご覧いただけます。

議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は**3月**です

日程は町内放送・ホームページで
お知らせします。

一 般 質 問

7人の議員が17項目を質問

質問（水橋議員）



みずはし なおゆき 議員
水橋 直行

鳥獣被害防止計画について被害軽減のために実施している項目について大きく3点質問する。

- 1 有害鳥獣処理施設について
- ① 利用開始時期は。
- ② 利用者制限はあるか。
- ③ 利用料は必要か。
- ④ 利用日時は決めているか。
- ⑤ 残渣は発生するか、また発生する場合どのように処理するか。

問

鳥獣被害防止計画は

答

駆除環境について協議



- 2 ジビエの検討について
- ① 加工にかかわるプロセスはどのように考えているか。
- ② 販売方法等どのような検討をしているか。
- 3 鶺鴒の駆除について、町内の駆除は行っているが、隣接する今治市の神殿島のコロニーから本島に飛来し被害があると聞けが、今治市と協力し駆除することはできないか。

答弁（地域経営課長）

- 1 有害鳥獣処理施設について
- ① 平成30年4月1日。
- ② 原則、町に住所を有するもの。
- ③ 利用料は定めるが、駆除依頼をしている関係上減免の方向で検討中。
- ④ 平日に定休日を設けるよう検討中。
- ⑤ 残渣は発生しない。

- 2 ジビエの検討について
- ① 利用者で施設を活用していただきたい。町が直接

おこなう考えはない。

- ② 町としては考えていない。しかし食肉業法の許可を取るための高価な備品購入については、協議しながら支援していきたい。
- 3 鶺鴒の駆除について
- ③ 広島県に確認しながら隣接市町と協力して駆除できるか検討する。



かん だ たいすけ
閑田 大祐 議員

問 原下物揚げ場の防塵対策を

答 タイヤ洗い場を設置する

行ってきたが、解決に至っていない。

放置できない問題なので、町がタイヤ洗い場を平成30年度に設置したいと考えている。

再質問（閑田議員）

タイヤに付着した泥はそれで良いが、風当たりの強い場所なので野積み状態でも埃が飛散するが、対策は。

答弁（建設課長）

防塵柵の目的で植えている木が少しずつ大きくなっているが、木の上空を越えている。

県とさらに協議し、効果的な箇所に防塵柵が設置できればと考えている。



来年度には対策が実施される

問 地元説明会は適切に

答 改善していく

質問（閑田議員）

公共事業を実施する際、地元説明会が行われている。円滑に事業を実施するには、基本設計の前にまず地元の意見や要望を聞くべきだと思うが、最近開催された説明会はどれも実施設計の後、または入札後に行われている。

これでは地元の意見は何も反映できない。説明会のあり方を見直すべきでは。

答弁（総務企画課長）

今後は早い段階で開催できるように努めていく。

問 大崎上島学のバックアップ体制を

答 連携し検討

質問（閑田議員）

大崎上島学が文部科学省から高い評価を受け、視察が増加していると聞いたので何う。

- ①今年度の視察受入れ件数および人数は。
- ②宿泊した団体、個人は。
- ③観光部門との連携は。
- ④教育の島構想との連携は。

答弁（教育長）

教育委員会としては大崎上島学の評価より、全国学力テストなどでここ数年、毎年高い数値を残していることについての視察だと考えている。

その上で、
①学校が4校10名、市町が他県を含め3市町18名、個人が3名で計31名の視察があった。

- ②すべて日帰り。
- ③していない。

質問（閑田議員）
原下物揚げ場の防塵対策について、県とはどのような協議を行っているか。
町が委託を受けて管理しているが県の施設であり、県が必要な施策を施すべきだが、問題が長期化していることを踏まえ、町としての対応は考えているのか。

答弁（建設課長）
防塵対策については使用者に適切に管理するよう条件を付けている。

しかし、使用者も努力はしているが完全に抑えることは困難だ。県に防塵対策の要望を

質問（前田議員）
倒壊危険家屋対策では、町の危険建物除去促進事業補助金交付なども奏功し、部分的には進展しているが、危険家屋所有者に対応をお願いしても回答がない場合もあり、そのまま放置すればさらに深刻な状況になる。

解体すれば費用もかかり更地にすれば土地の固定資産税が最大4倍になるのも原因とも考えられる。このような例に鑑みても、行政代執行法の適用も考慮すべきでは。要件を満たせば、期限を定め、履行のない場合は代執行をする旨の戒告、代執行令書通知、代執行、費用徴収となる。

代執行を行わず公益に重大な損害が想定される場合には、行政には代執行の義務があるとの判例もある。

困難な問題が多く存在するが、町民を守る最終的手段と考える。また、戒告の段階で解決できる可能性もある。今後どのように取り組まれるのか決意を伺う。

答弁（建設課長）
ただいま本町において問題になっている家屋については、こちらからの指導、助言という形で通知をさせていただいているが、本人の確認が取れていないものがある。本人の意見を聴取して、勧告、命令という手続きを踏むというガイドラインになっている。その辺は早急に行うが、まず相手を確知していきたいと考える。



まえだぶとし 議員 前田 太

問

倒壊危険家屋に強力な対策を

答 まず相手を確知していく

④教育行政にはその独立性が求められている。できることはするが、教育の島構想に全て関わるということにはならない。

また、町の子どもたちにも学習指導要領で求められる確かな学力を身に付けさせるのが教育委員会の使命だ。今後も本町の教育を模範として視察に訪れて頂けるよう、この島の教育を充実させたい。

再質問（関田議員）
町の教育の島構想は、交流人口の増加を主目的にしている。視察もその1つと捉え、町長部局はこれと連携し、バックアップ体制を作るべきではないか。

答弁（総務企画課長）
大崎上島学との連携は、どの部分で関連付け・活用ができるか、教育委員会と連携し検討したい。





もりわか いわお
森若 巖 議員

問 タブレット無償貸し出しは

答 議員の同意が得られた後に導入

質問（森若議員）

6月議会でこの件の質問をしたが納得のいかない点があるので再度質問をする。平成28年8月に議会運営委員会が島根の方に視察研修に行っており、この「タブレット」無償貸し出しはその時に決まったものと思っ

ている。私が不思議に思うのは議員からの要望であればすぐに翌年の予算として計上されるのかという事だ。

私が以前議員の時、色々な所に視察研修に参加させて頂いたがこのような事は一度もなかったと思っ

ている。その良き例が有害鳥獣処理施設の件である。

また、議員からの要望であつても対費用効果等について協議をし、考える。2点目の件は、県内23自治体のなかで少しずつだが

予算がつくまでに何年も費やしてやっと平成29年度に事業化したことを考えると議員の要望であればこれ

からもこのような事はあるのか。

次に「タブレット」を導入すると経費の削減が出来るとの事、それなら県内23自治体の中で導入が進まないのはなぜか。

答弁（総務企画課長）

この件については議員の方から導入を執行部と連携して検討したいと申し出ていた

いただき導入を決め予算を計上した。

また、議員からの要望であつても対費用効果等について協議をし、考える。

導入されている。

再質問（森若議員）

では、「タブレット」を導入するに当たって通信費の件、禁止事項などの使用に関する規定などをしっかりと協議したのか、まず導入

ありきでなくそれが出来な

いままでするのなら、私は導入する事は反対だ。そこが一番大事だと思っ

ている。それでも本年度中に無償貸し出しをするつもりか。

再答弁（総務企画課長）

導入に当たっては、議員の同意が得られた後に導入したいと考えている。

問 垂水フェリーの駐車場管理は

答 適切な管理に努める

質問（森若議員）

駐車場の管理はどのようになっているのか。

答弁（建設課長）

建設課で管理している。

再質問（森若議員）

マナーの悪い方が、駐車スペースがないと通路に並べて止めており、駐車場から出ることが出来ない。

そういう方には警告文を出し、それでもマナーを守っていただけない時はレッカー移動する位の強い指導は考えられないか。

再答弁（建設課長）

近くに民間の駐車場もあると広報し、それでもだめな時はワイパーに警告文を挟む等、取り組む。



迷惑駐車はやめましょう！



上青木 至 議員

問
土砂運搬の
後始末は

答
原因者の
責任で処理を

質問（上青木議員）
原下から土砂運搬が行われていますが、山尻入口まで、土砂が落ちており、多いところでは、縁石2cm溝に10cm土砂が堆積している。業者に指導しているのか。

答弁（建設課長）
原因者で対処すべきであり、文書や電話で指導している。

問
大西港線の拡張を

答
拡張は困難

質問（上青木議員）

大西港から大西橋まで歩行者が多いのに歩道がないことや、大西橋から転落しそうになった車や、ガードレールの高さが足りないなど問題が多くあり早急に改善を。

答弁（建設課長）

十数年前から県と協議しているが拡張は困難。限られた予算で点検は厳しいが、指摘を踏まえ県に強く要望する。



懸案の大西橋

問

木江小学校南側
湾内コンクリート
残滓の処理は

答
早急に対処する

質問（上青木議員）

木江小学校南側湾内コンクリート残滓の処理は15年間放置したままだ。生徒や地域住民の安全を考えると、早急に撤去をすべきでは。

答弁（教育長）

6年前から認知し、建設課に要望していた。

答弁（建設課長）

連絡を受けたが協議していなかったため、早急に対処する。



昔のプールの残骸

問
ふるさと納税は

答
地域活性化に活用

質問（上青木議員）

ふるさと納税は地域活性化のために行われるべきではないのか。一部目的のため返礼品を見受けられるが税の公平性はどうか。

答弁（総務企画課長）

ふるさとに貢献するための制度で、地域活性化に役立っている。返礼品で加熱しているが総務大臣通達で見直している。本町の発展に活用していく。

問
介護保険はどの
ようになるのか

答
現在のサービスと
在宅で支援

質問（上青木議員）

高齢者は暮らしに不安がある。介護にどれだけ負担がかかるのか。年金で対応出来るのか。介護保険はどうなるのか。

答弁（福祉課長）

本年度は3年に一度の介護保険事業計画策定中、来年度は保険料改定の予定。説明会を行ったりし、

包括支援センターや社協等で相談を受ける。

高齢者が増えるが現在のサービスと在宅で支援していく。

問
町道等の伐採は

答
業者に委託

質問（上青木議員）

県道や町道に木が垂れ下がっている。長島大橋の伐採は維持管理で委託しているがどうなっているのか。

答弁（建設課長）

業者に委託している。今年度中に実施する予定。長島大橋を建設して30年になる。橋梁保全の観点で伐採箇所の拡大を検討する。



尾尻 康二 議員
おじり やすじ

問 各種基金の余剰金の債券への運用は

答 債券への運用を開始し、基金、資金の運用に取り組み

質問（尾尻議員）
町は基金の余剰金を預貯金で運用を続けてきたが、超低金利が続いており、運用利回りが大幅に低下している。利回りの確保を行うため、広島市の発行する債券（地方債）などでの運用を開始されている。

債券での運用は金利が上昇すれば、債券の価格が大幅に下がるリスクがある。その為、債券での運用を開始する場合は、時価管理システムを導入し、また、運用に関する規約を定めて厳格に管理することが必要である。どのような体制で取り組んでいるのか。収

益性の確保は必要であるが、公金の運用であり、安全性、流動性を第一とした運用体制が必要である。債券運用にどのように取り組むのか。また、現在運用した債券の銘柄と金額と、今後の債券での運用をどの程度予定しているのか。

答弁（会計課長）

町には総額67億円程度の基金があり、金融機関の預貯金で運用してきた。平成29年度の受取利息は約1400万円の見込みで大幅に減少している。町が管理する資金について、効率的な管理運用を行うことを目的に大崎上島町公金管理及び運用基準を定めた。この基準に基づき、運用会議を開催し、長期運

用が可能な資金は、地方債等の債券で運用することとした。債券管理に係る時価管理システムの導入については、現在、数銘柄の保有であり、銘柄が多くなった時点で検討する。毎月末業者から提出される残高証明と、毎日、日本証券業協会のサイトにて時価確認を行っている。

現在、運用した債券は地方債（広島市債）2億円、財投機関債（鉄道運輸機構債）1億円の計3億円である。

長期運用が可能な資金は40億円程度と考えているが財政とも相談しながら、取り組む。

問 遊休財産の利活用は

答 利活用の計画、取り組みを進める。

質問（尾尻議員）

今年度は、沖浦地区の遊休土地を宅地として売却を開始したことなど積極的な取り組みも見られる。

しかしながら、まだ利活用の見込める土地もあり、今後の計画とか取り組み方針は。

また、町民から町有地の購入の要望がある場合は、どのような手続きとなるか。

答弁（総務企画課長）

沖浦団地は10区画のうち2区画の売却が決定した。

今後の取組は、東野地区の町営白水住宅を解体しており、定住促進の住宅として整備すべく検討している。

遊休地については、定住促進や地域の活性化を図れるよう計画、取り組みを行う。

町民が町有地を希望される場合は、町の利活用の計

画がなければ、説明のうえ、売却等進めていく。



絶賛販売中！

大崎海星高校 サッカー部の紹介

議会は、がんばる島の子ども達を応援します。

『このページは、大崎海星高校より頂いた原稿・写真を掲載しています。』

私たちサッカー部は今年度、選手19名、マネージャー4名の計23名で活動してきました。3年生が引退した後も、2年生を中心に毎日一生懸命練習に取り組んでいます。

今年は尾三地区総体予選や尾三カップ、選手権大会に出場し、健闘しました。尾三地区1年生大会では2年生も含めたオープン参加の部ながら公式戦勝利を飾ったり、練習試合で勝利を飾ったりと部員は着実に成長しています。

サッカー部は「みんなから応援されるクラブになろう!」という合言葉のもと、サッカーを通じて良い人間になるように頑張っています。学校だけではなく、地域とともに生徒を育てていきたいと思えますので、部員をお見かけの際には応援・お声かけをよろしくお願いします。



練習試合の風景です！
人数が少ないので一人ひとりに活躍の場があります！



活動日

- 月曜日～金曜日（放課後）
@大崎海星高校グラウンド
- 土曜日、日曜日には近隣の高校との試合もしています！



練習の風景です！
部員同士の仲も良く、毎日楽しく
厳しく練習しています！

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：閑田大祐 副委員長：渡辺年範
委員：越田賢一 水橋直行
前田 太 道林清隆

これにより、町や区のお知らせ文書の配布や防災活動など、地域のコミュニティが停滞する状況が発生しています。これを解消するため、

① 転入・転居の届出を出された方に自治会活動を紹介したチラシを配布し、「町内会等自治組織加入案内連絡票」に記入してもらおうよう努める。

② 住民課窓口で受け付けた1ヶ月分の連絡票を取りまとめ、区長に送付する。

③ 自治会に、必要に応じて対象世帯に加入案内のための連絡を促す。といった内容の文書を各区長に送り、町と自治会が協力して加入促進を図る取り組みを始めました。

○自治会の加入促進について

近年、転入・転居時に自治会に加入しない人が増えています。

○外国青年招致事業

英語教諭（ALT）として新たに2名、再任用1名の計3名体制で4小中学校及び4就学前施設（幼稚園及びこども園）に配置することとなりました。

また、一般の方に公民館教室として、英会話教室も実施しています。詳しくは教育課まで。



英語の授業 楽しい！

○学習交流センター整備事業

工事の進捗状況や管理運営体制の検討状況、備品購入などについて説明を受け

ました。

管理人やハウスマスター、給食業務に係るものですが、他の部分で地元説明会の際に説明した内容と異なる方針があり、委員からは苦言が出ました。



建設中の学習交流センター

○広島叡智学園

干拓地造成工事・浜谷川河川改修工事が完了し、1部区域を除き開発申請の手続きを行っています。

今後は上下水道のインフラ整備に続き、定住促進住宅を町が整備する計画となつていますが、「既存の老朽化した町営住宅に住む

町民をそのままにして、新たな住宅を造るのか」といった意見も出ました。

○福祉現場の人材確保策

今年度当初予算で成立した、社会福祉人材就職支援金支給事業と、社会福祉人材育成定着事業の状況説明を受けました。

人材育成定着事業とは、大崎福祉会が将来、福祉会に就職することを前提に奨学金を支給する制度です。所定の条件を満たせば、返済免除となります。

就職支援金支給事業は、今年度すでに3件の支給を行い、人材の掘り起こしに寄与できたとの報告がありました。

○補正予算

平成29年度12月補正予算の説明を受け、委員会で審議しました。

産業建設常任委員会報告

委員長：尾尻康二 副委員長：森若巖
 委員：浜田明利 浜田幸造
 上青木至 信谷俊樹

平成29年9月定例会以降の委員会報告をします。各課から12月定例会で議案となる条例案、補正予算案と主な繰越事業の進捗状況などの説明を受けて審議しました。

○大串定住促進住宅整備事業

大串地区に平成31年2月末を期限に、30戸（3LDKが12戸、1LDKが18戸）の定住促進のための集合住宅を建設します。発注方法は「公募型プロポーザル方式」で実施されます。

○イノシシ処理施設建設
 現在、旧西野小学校跡地に建設中です。委員会が現地視察を行い、設計者に図面により説明を受けました。

○野賀公園周辺整備事業
 公園内の駐車場から四国方面が展望できるデッキを新設します。



○体験型修学旅行事業

5年目となり、今年度の見込みは総計で学校数58校、生徒数9691人となり、先生等引率者を含めば、来島者数は1万人を超えます。



家業体験

○大崎上島町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

農業委員の定数の基準が変更され、担当区域における農地等の利用最適化を推進する委員が新設されます。

○大崎上島町小規模企業振興条例

町の小規模企業の成長発展及び、その事業の持続的発展並びに地域経済の発展を図るもの。

○大崎上島町捕獲鳥獣処理施設の設置及び管理に関する条例

○大崎上島町観光案内所の設置に関する条例

○主な補正予算

歳入

・大崎上島循環線道路改良事業（5000万円）

・主要地方道大崎上島線改良事業を県から受託した委託金

歳出

・大串定住促進住宅整備事業（8億6030万円）

・県道大崎上島線『大串工区』改良工事（5610万円）

・町道維持工事（1190万円）

路肩、水路、付属物、伐木工事

・住宅新築改築助成事業（440万円）

住宅の新築改築に330万円、空き家活用に110万円の助成金を追加計上

○意見書

委員会では1件の意見書を提出しました。「道路の整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書」



総務福祉文教常任委員会行政視察報告

委員長：関田大祐 副委員長：渡辺年範
委員：越田賢一 水橋直行
前田 太 道林清隆

総務福祉文教常任委員会
は、平成29年11月7日～9
日に熊本県玉東町と宮崎県
五ヶ瀬町で行政視察研修を
行いました。

☆子育て世代包括支援セン ター

玉東町では、「産後にヘルパーのサービスが利用できないか」という住民や議会からの意見を受け、平成27年5月から子育て世代包括支援センターを設置しています。利用対象者は妊産婦、乳幼児ならびにその保護者、さらには18歳までの子どもとその保護者と非常に幅が広く、妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援を実施しています。

不妊の悩みから出産や乳幼児期の育児の悩み、その後も子育てに関する相談が1つの窓口でできます。

ヘルパーサービスではシルバー人材センターを活用した妊産婦サポート体制などを確立しており、経験や知識の豊富な高齢者が多い大崎上島町も、今後検討し

ていくべきだと感じました。



☆宮崎県立五ヶ瀬中等教育 学校

大串地区に広島叡智学園の開校が決定したことを受け、同様の公立中高一貫校である五ヶ瀬中等教育学校を視察しました。

平成6年に全国初の公立中高一貫校として開校後、法改正などを経て平成11年に現在の校名になり、平成26年度には文科省からスーパーグローバルスクールの指定を受けています。1・

2年生はローカル学、3～6年生はグローバル学として、海外研修なども行っています。

小学校卒業直後から寮生活となる生徒のケアシステムや、地域を教材とした課題解決型学習への協力、寮・給食運営への従事など、地元としての学校への協力態勢づくりに大きな参考になりました。



☆五ヶ瀬教育ビジョン

五ヶ瀬町には「五ヶ瀬教育ビジョン」という教育プランがあります。これは現在、大崎上島町教育委員会が推進する「大崎上島町教育推進プラン」の原型ともいえるもので、「町の子どもは町が育てる」とし、「故

郷への誇り」を育み、町の将来を担う人材の育成を目指しています。

複数の学校の同学年が集まって実施する「G授業」を見学しましたが、子供たちの集中力の高さには感心しました。

これをモデルとして、さらに発展させた「大崎上島学」では、就学前（幼児）教育も組み込んでおり、現時点での充実度は大崎上島町のほうが高いとも感じられました。行政や議会も含め町全体が強力なバックアップ態勢を敷いていると感じました。



産業建設常任委員会行政視察報告

委員長：尾尻康二 副委員長 森若巖
委員：浜田明利 上青木至
信谷俊樹

産業建設常任委員会は11月15日～17日まで、鹿児島県の十島村と阿久根市、福岡県の北九州市を行政視察しました。

☆十島村移住支援策

十島村は、鹿児島県の南部に位置する人口701人、393世帯の多島村（有人7島、無人5島）です。アクセスは、鹿児島島から有人島へ週2便のフェリーです。

厳しい生活環境の中、手厚い移住支援策を行い、移住者が増え、7年前に比べ人口が、107人増加し、社会増加率が27%と全国1位となりました。

村の移住支援策について視察をお願いし、鹿児島市にある村役場で、ビデオ等により説明を受けました。人口減少に危機感を持ち、平成22年度より本格的に移住施策を実施しています。主な移住支援策は

- ・ 就業者育成奨励金交付制度
- ・ 空き家利活用事業

- ・ 定住対策室の設置
- ・ 定住対策の一本化
- ・ 定住促進プロジェクトチームの設置
- ・ 生活支援

最後に、支援制度だけでは定住につながらず、結い（助け合い）の精神がないと暮らしていけない島です。夢や目標があり、自然や海、島の文化、人との触れ合いが好きな方でないとなしと説明がありました。

この環境で定住実績を上げていく十島村の取組はすばらしいと思いました。



☆阿久根市の獣肉処理施設
阿久根市の「いかくら阿久根」を視察

しました。施設は一般社団法人となっており、事務局等より運営状況、補助金・捕獲状況等について説明を受けました。

その後処理施設を見学しました。捕獲獣の9割をジビエに活用しており、衛生的に処理され、精肉加工体制が整備されています。

大崎上島町にもイノシシ処理施設が建設されており、多数のイノシシが捕獲されているので、体制整備に課題はあるが、今後のジビエの活用にも参考となりました。

☆北九州市若松総合事業所・若松研究所

北九州市の電源開発の若松総合事業所・若松研究所と所内のカゴメが運営する「トマト栽培施設「響灘菜園」」を視察しました。

若松研究所は、大崎クルジエンの実証実験などの技術開発の場所であり、そのパイロット試験施設も建設されており、若松総合事業所の事務所において、その事業所の概要について

説明を受け、響灘菜園、各研究施設等を見学しました。響灘菜園は、石炭灰で埋められた総面積85ヘクタールの大規模なハイテク温室で、年間約3千トンのトマトを出荷しており、従業員も最大200名を雇用しています。

世界最先端の生産環境制御システムとココヤシ培地による養液栽培で育てています。トマトは天井から誘引フックで吊るし移動し15メートルにも育ち、30～40段取りができます。

長期栽培、多収収穫を実施しており、最先端の農業を見学でき参考となりました。



追跡 あれからどうなった

(平成26年6月・12月定例会一般質問から)

質問

イノシシの残骸処理施設は

回答

建設を考えている

その後の経過

平成29年度処理施設を建設し、平成30年4月より運用開始予定

建設予算

4818万円

処理能力

180kg/日

利用可能者

原則大崎上島町に住所を有する方

休館日

平日に定休日設ける予定

質問

将来の人口減への対応は

回答

町を挙げて検討

その後の経過

流出口口減少対策に係る施策案を全職員から募り「人口減少問題対策施策提案総括」としてまとめ平成26年12月「まち・ひと・しごと創生法」が施行され左記の施策を「大崎上島町まち・ひと・しごと総合戦略」に掲げ国の補助金を活用し実施している。

○主な事業

- ・U・イターナー者就業支援事業
- ・当該駐車場利用者助勢事業
- ・定住者促進事業
- ・新規就農支援事業
- ・子育て支援事業 など

※町戦略会議において状況を検証するとともに他の事業においても必要な事業については実施する。

編集後記



今年はいよいよ寒い日が毎日続きますが12月定例会も終わりました。新しい年を向えようとしています。

私は、町は町民あつての町であり町があつての町民ではないと思っています。そのためには町民一人ひとりをもっと町の事に関心を持って、今以上に町は良くなっていくと思っています。来年度は大串区に建設される広島叡智学園、それに関する施設の本格工事が始まり我が町にとって激動の年になると思っています。そのためにも他の事業に影響があつては困りますので、町民の方一人ひとりが今以上に町政に関心を持って頂きたいと願っています。最後に新しい年が皆様にとって良い年でありますように。

M

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

議会広報委員

委員長 閑田大祐
副委員長 水橋直行
委員 尾尻康二
越田賢一
森若 巖
上青木至